

恩納村文化財普及事業 「恩納村の文化財展」を開催しています。

平成 29 年 3 月 22 日付けで新たに恩納村指定文化財に「恩納村の印部石」と「国頭郡恩納間切各村全図及び字図等」、「南恩納の龕」がなりました。そのことを受け、指定後初公開となります文化財普及事業展示会を開催いたします。「恩納村の印部石」は、琉球王国時代に行われた乾隆検地で使用された測量の基準点として設置された石に小字名(ハル名)を刻んだもので今回6点が指定となりました。「国頭郡恩納間切各村全図及び字図等」は明治時代以降に作成された土地利用を示す地図やその後の村に関連する地図群6点をまとめて村指定文化財となりました。

「南恩納の龕」は、南恩納で使用されていた葬儀に利用していた龕です。村内で龕が現存する唯一の資料であり、南恩納には龕を保管するガンヤも現存しています。仲泊大道原の印部石は、発掘調査を実施しその成果を基に現地であったように復元して展示しております。この機会に恩納村のご先祖様たちに関連した文化財をご覧ください。



展示会場入り口



恩納村の印部石



仲泊遺跡最大の石斧(レプリカ)



展示会の様子



南恩納の龕



仲泊大道原の印部石



ロビーでは名嘉真の芸能映像放送

【期 間】 10月7日(土)～11月12日(日)

【場 所】 恩納村博物館2階 企画展示室

【休館日】 毎週月曜日、祝日の翌日等